

【市議会最前線】タウンミーティングをオンラインで開催 = 小松島市議会 (徳島県)

22/09/01 08:00 Ln001

小松島市議会では、議会基本条例に規定する「市民に開かれた議会」を目指し、毎年議会報告会（タウンミーティング）を開催しています。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できず、令和3年度においても開催は困難な状況にありました。そのような中、市議会と市民の方が意見を交わす場を実現できないかということで、議会改革特別委員会が中心となり、新たな方法を模索していました。

意見交換の場は多様であるべきとの意見、また現在のコロナ禍でも住民との意見交換ができる方法として、オンライン方式(zoomを利用)でタウンミーティングを実施することとしました。そして、普段は議場に来ることが難しい子育て世帯の方や、平日勤務の方なども参加しやすくなるよう休日〈令和4年1月29日（土）〉に開催することになりました。



オンラインによるタウンミーティングでは、市民15人と議員17人が参加しました。はじめに、「小松島市議会の取り組み」をテーマとして、各常任委員会委員長から議会での委員会活動報告を行いました。

その後、2班に分かれ、「子育てについて」をテーマに意見交換を行いました。議員2名がファシリテーターを務め、その他の議員も進行補助やホワイトボードへの意見整理といった役割分担を決め、アットホームな雰囲気の中で、会議を進めることができました。参加者には子育て世代の母親も多く、日頃から関心のあるテーマに様々な意見が出されました。最後に各班での意見をまとめて、ファシリテーターが全体会で発表しました。



参加者からは、「グループに分かれての討論をすることで、様々な方の意見を知ることができたのは良かった」「子育てに限らず、定期的にこのようにzoomミーティングをしていただくとありがたい」「市民の声が実際に届いていると実感でき、選挙や市政への関心が高まると感じた」などの感想がありました。

オンラインによるタウンミーティングで取りまとめられた意見は、市長へ提言書として提出しております。

また、様々な意見に対しては、常任委員会ごとに整理し、令和4年度に研究・検討を行うこととなりました。

こうした困難な状況下でも市民と直接意見交換ができたことは、市議会にとっても大変貴重な機会でありました。今回の一連の流れをルール化し、市民の意見を政策提言に繋げる取り組みを継続してまいります。(了)